

## 【 寒さの中にも春の訪れを感じます 】



2月3日は節分の日です。子どもたちが利用者の皆さんと直接触れ合うのは、インフルエンザの時期でもあり、難しいので、子どもたちはクローバー1F建物のガラス越しの外の庭で「ひよこハウスの節分行事」を利用者の皆さんに見ていただきました。子どもたちは、手作りの鬼さんのお面を頭に被り、鬼さんをやっつけようと、必死に節分の豆まきをしました。職員が扮した大きな鬼に怯え、泣きながら、後ずさりしながらも必死に豆を蒔いていました。

利用者の皆さんは、子どもたちの元気な姿、鬼が怖くて泣く姿、思い切り豆を投げ付ける姿を、楽しそう、微笑ましそうに見つめておられました。

日本の冬の風物詩をこういう形で楽しめるのも、子どもたちと利用者のお年寄りの皆さんが、身近にふれ合える当施設の特徴です。

今期もインフルエンザ予防対策を職員だけでなく、ご利用者家族の皆さんにもご協力いただきながら、行っております。マスク・手洗い・消毒（床等も）、面会制限などを徹底し、インフルエンザの早期発見、もし発生があれば、隔離・抗インフルエンザ薬の予防投与という体制を作り、現在のところ、しっかりと防衛しております。毎日、医師・看護師の医療体制が機能している結果でもあり、これも2番目の特徴です。

クローバー・ローズマリーは、いろんな特徴を生かして、利用者皆様の生活の充実感、それを支える職員の職務を通じた達成感、その二つが釀成する「心のエネルギー」を大切に、それぞれの人生のよりゆたかにしていけたらと願っております。

もう少しで春です。ロウバイや紅白梅、フキノトウが、寒さのなか、花を咲かせ、いい香りを漂わせています。今月もよろしくお願ひ申し上げます。

佐々木 榮一

